

# グループ32社のスケールメリットを活かして 業務効率化とTCO削減を実現

## ミサワホーム株式会社 様



ミサワホーム株式会社様（以下敬称略）は“住まいを通じて生涯のおつきあい”という精神のもと、全国規模で住宅の開発、販売、設計・施工を手掛けています。主に木質パネル接着工法および鉄骨系ユニット工法を採用し、戸建住宅や賃貸住宅、分譲住宅などの住宅事業のほか、リフォーム事業、資産活用事業、介護福祉事業などを展開しています。CO2排出量を削減するエコ住宅や環境に配慮したリサイクル素材を開発するなど、環境活動にも積極的に取り組んでいます。

## 背景

これまで住宅業界は、日本固有の住文化や政府による景気刺激策などの後押しもあり、他業界と比べて構造改革が遅れていた面もありました。しかし、近年はこれまで住宅購入のボリュームゾーンだった30～50代の人口が急激に減少しています。このように、市場の縮小が顕著になっていることを受け、業界全体としても経営改革が急務となっています。

## 課題

ミサワホームでは、メーカーと販売会社が分離独立しており、一体型経営の企業に比べて、間接コストがかかるという課題を抱えていました。そこで、2009年からグループ全体での間接業務のスリム化を目指し、「オフィス改革プロジェクト」に着手。効果を最大化するための、さまざまな具体策を検討・実施していました。そこへ富士ゼロックスが提案したのが、機器を所有・管理せずその価値を受け取るという斬新なサービス「XOS（エックスオーエス）」でした。

「XOSの提案を受けた後、他社でもXOSと同様のサービスが提供できるのかどうかを確認したところ、各社とも『全国レベルで均一のサービスを提供することはできない』という旨の回答でした。当社としては『グループ会社への一斉導入』と『日本全国の拠点で、均一料金・均一レベルでのサービス提供』を必須と考えていたため、富士ゼロックスを選択しました」。

企画管理本部 総務人事部 総務課長  
南 哲也 様

## 解決策

ミサワホームでは、2010年早々にはXOSの導入を決定し、すぐにグループ32社への展開に向けた活動を開始。すべての販売会社に足を運び、役員層と現場の推進者に趣旨や導入のメリット・デメリットを伝えました。さらに、個別にヒアリングした要望をできる限り反映しながら展開を進めました。

そして、2010年10月にサービスインし、現在はメーカーと販売会社を含めたグループ32社の全国約460拠点で利用しています。

## 成果

今回ミサワホームが導入した「XOS」の効果として、主に以下の8つが挙げられます。

1. 初期投資を必要とせず、導入した日からコスト削減を実現。
2. グループ各社が独自に行っていた導入や運用にかかわる業務を統合し、管理工数を大幅に削減。
3. 印刷コストで約35%、TCOで約40%のコスト削減を実現。
4. 出力機器の資産を変動費化。
5. ICカードの導入により放置プリントを抑制し、情報セキュリティを強化。
6. 万が一のプリンター故障などに対して、繁忙日である土日サポートの実現。
7. 機器の適正配置・省エネモデルの導入により、全社の電力使用量に対し、約5%の節電効果。
8. 出力指示ミスの取り消し機能などにより、紙の使用量を約30%削減。また、用紙一括購入により単価を下げ、コスト削減を実現。

今回の取り組みで、出力環境の最適化とセキュリティ強化のため、グループ全体で出力機器を1500台から890台に大幅に削減し、出力時のICカードによる本人認証も導入しましたが、ユーザーから不満の声はありません。逆に、高精細な機器に統一され、表現力が向上し、お客様からも好評を得ています。

今後、ミサワホームではさらなる間接業務の効率化を目指し、グループ間で経理など専門的分野の共通業務を集約させ、グループ全体でのシェアード化を検討しています。

また、販売会社からは、“住まいを通じて生涯のおつきあい”を掲げるミサワホームを下支えする重要なインフラとして、全国約55万のお客様ごとの施工図書を、グループ全体で長期的かつ効率的に運用するために、「XOS」を利用した文書の電子化や統合管理などのシェアード化の要望が出ています。

こうしたさまざまなプロジェクトを推進していく上での重要なパートナーとして、今後とも富士ゼロックスには、より良いサポートを期待しています。

## サマリー

### <<課題>>

- グループ全体としてのコスト削減と業務効率化
- メーカーと販売会社の分離独立による高い間接コストの低減
- 全国レベルで均一サービス提供
- 放置プリントによる情報漏洩などのセキュリティリスクの排除

### <<解決策>>

- 出力環境における統一的な運用ルールを含めたグループ全体統制基盤の構築
- グループ各社における出力機器の最適配置
- ICカードによる出力時の本人認証
- メンテナンスや故障の検知、出力機器の使用状況のモニタリング、レポート
- ヘルプデスクによるユーザーサポート

### <<成果>>

- 出力機器の集約（1500台→890台）による、コスト削減
- ICカード出力によるセキュリティ強化
- グループ32社・全国約460拠点で均一レベルのサービス享受